

## 上信県境 ぶどう峠から十石峠 縦走

【山城】 奥秩父 ぶどう峠から十石峠

【日程】 2015年11月21日（土）～22日（日）

【メンバー】 CL 柘植秀樹、SL 橋本丈夫、石橋きよみ、富樫富久美

【天候】 11/21 晴れ 11/22 霧雨

【行程】

11/21：道の駅南きよさと5時起床－小海駅（車を駐車）－7:12 発北相木村営バスで三本木 7:50－ぶどう峠 9:30－ぶどう岳 10:15－新三郎 11:30－梅峠 12:00－十石峠 13:50（テント泊）



00 全体概念図：群馬県と長野県との県境コース

道の駅を朝5時に起床して小海駅へ向かう。小海駅の隣にあるスーパーに駐車する。7:12 発の北相木村営バス（100円）で三本木へ向かう。このバスもいつまで利用できるのであろうか。三本木から歩き始める。舗装道路であるが、道路の両端にカラマツの落葉のマットができて足への負担を和らげてくれる。約1時間30分の道も4人のおしゃべりで時間を忘れて何時の間にやら、ぶどう峠（武道峠）に着いた。周辺の木々はすでに落葉し、冷たい寒風の中、写真の撮影や準備を行いぶどう岳に向かった。初めから急斜面や岩場が出てきて慣れていない体にはつらい登りである。この県境尾根は、群馬県側が急峻で長野県側は緩斜面です。地質のためと思うのですが、調べてみたいですね。約40分でぶどう岳に到着する。この先では地形図にない大きな送電線があった。この県境付近には地形図にはない数多くの送電線が走っており、地図に反映してもらいたいものだ。



01 スタートのぶどう峠



02 ぶどう岳の山頂



03 新三郎の山頂



04 雲上の八ヶ岳

新三郎で右折の尾根をたどり梅峠まではテープや県境杭もあり特に難しくはない。梅峠には地藏もありここから尾根の右側にある古い林道をたどる。林道の三叉路に木製の道標がありここから十石峠まで3kmと記載されている。地図ではこの先は尾根の右側に道があるはずが反対の左にあり、道を見ないで尾根筋を歩くしかなさそうである。今日のルートでは藪はほとんどなく午後2時頃に十石峠に到着した。



05 梅峠



06 右両神山から左西上州方面の展望

十石峠には車やバイクが数台駐車していた。展望台やトイレがあり、天気も徐々に悪くなり、風も冷たくなってきたので展望台の中にテントを設営した。下はコンクリートで回りは木で囲われているので雨が降っても最高の幕場である。

水はネットではどこからか引いた水があるはずであったが、この時期はたまり水があるのみ。トイレも施錠されており、あくまで観光シーズン限定らしい。仕方ないので柘植・橋本で地図を見定めて長野県側に水を求めて下るとラッキーにも10分ちょっとで枝沢で得ることができた。



07 十石峠の展望塔(この中に幕営)



08 十石峠のお地藏さま

11/22 : 十石峠 6:45-8:45 古谷荘-タクシーで小海駅-帰葉

4時に起床。周囲は深い霧である。朝食後6時15分に出発した。出発してすぐに雨が降り始めたため、山行の中止を決定した。これから先はエスケープルートがない上、雨の藪漕ぎは濡れてしまうので中止した。昨日と同様に約2時間の車道歩きは、話題の尽きないおしゃべり歩きとなった。白石荘に8時45分に到着、9時少し前にタクシーに乗車して小海駅に戻った。

(記録：橋本)